

No. 4

H28.6.22

船橋夏見特別支援学校 校長 小室 いづみ

〜学校という場所は、とてもステキなところです。登校してきた生徒たちの元気な声が校内 にひびき、先生方の生徒たちへの声かけが聞こえ、そよぐ風や鳥のさえずりが聞こえてきます。そんなステキな学校の校内の様子や校長として私の考えを、折々にお伝えしたく、この 日記を始めます。ご覧いただき、励ましやご意見をいただければ、幸いです。〜







6月は中学部の校外学習が何回かに分けて行われています。 写真は、16日のC課程の出発です。ケーヨーD2とイオン モール船橋店で友達と買い物をしたり、外食を楽しんだりし ます。単なる楽しみでなく、友人同士で外出の機会を持つこ

とが少ない生徒にとって貴重な体験であり、学習の機会です。一方、校内では高等部A課程の生徒が中間テストでした。高等部1年は、23、24日に校外学習が予定されています。

## 

**6月20日(月)**本日から教育実習生が2名来ています。植草学園大学と淑徳大学からです。二人ともやや緊張して朝の職員打ち合わせで挨拶してくれました。校長からは「学び続ける謙虚さを忘れないこと」という話をしました。真面目そうな二人、これから頑張って生徒たちから多くのことを学んでいくでしょう。楽しみです。



本日5・6限を使って木津教諭による道徳の公開授業が行われました。タイトルは「江戸時代の人たちの生活からわかること」。中学部A課程の二人の生徒に「自分の礼儀作法を振り返る」というプリントの記入と発表を通して、お互いの思いやりの必要性に気づかせ、後半は江戸時代の「江戸しぐさ」から学ぶという内容でした。生徒の様子を見守りながらゆっくりと丁寧に、時折笑いも交えなが

らの穏やかな授業でした。「やってもらえて当たり前!」でなく、礼儀をもって感謝する気持ちに気づく事。今日考えたことが、心の中にしっかりと根付いてほしいなと思いました。

6月22日(水)本日は、すぐお隣の「船橋旭こども園」の園児53名が、本校の校門から入口の坂にひまわりの種を植えに来てくれました。本校生徒会が行っている『夏見ひまわりプロジェクト』の一環です。生徒会長が食堂で本校生徒に呼びかけた。「学校の花であるひまわりで校内をいった



びかけた、「学校の花であるひまわりで校内をいっぱいにしよう」という活動です。お隣の船橋旭こども園にお願いしたところ協力を快諾してくれました。 本日は生徒会長も子ども達をお出迎えしました。元気の良い声が響き、種を植

えた後、グラウンドを駆け回ってバッタをとったりクローバーを摘んだり、探検していきました。本校と地元の方との交流が、また一つ増えました。嬉しいですね。

「ひまわりが咲いたら、また来てくださいね!」と見送りました。